

- 
- ・行政連携で苦労している事例
 - ・うんなんコミュニティ財団（南砺幸せ未来基金）
 - ・石原尚実

今回取り上げる事例について（基礎情報）

【資金分配団体の事業全体の概要】

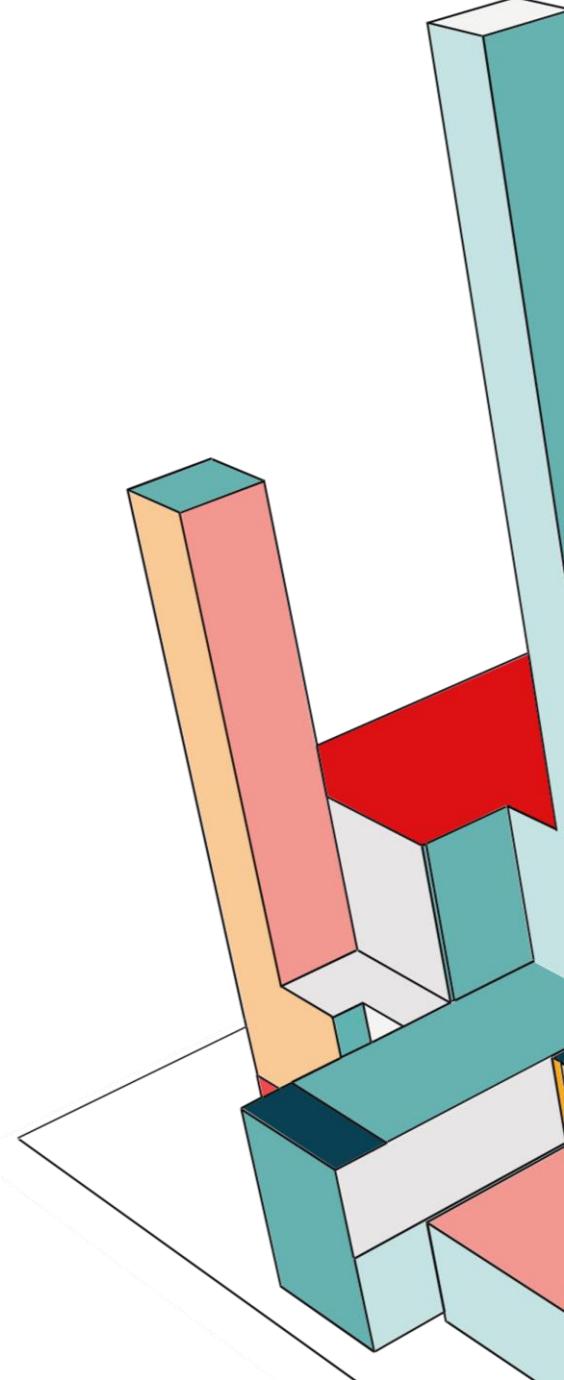
社会的困難者を支えるローカルアクション

【今回取り上げる団体の概要】

地縁団体。地域づくり、生活支援、地域福祉推進、生涯学習などを実施。
地域内の諸問題の解決と新興に住民が協働して取り組む。

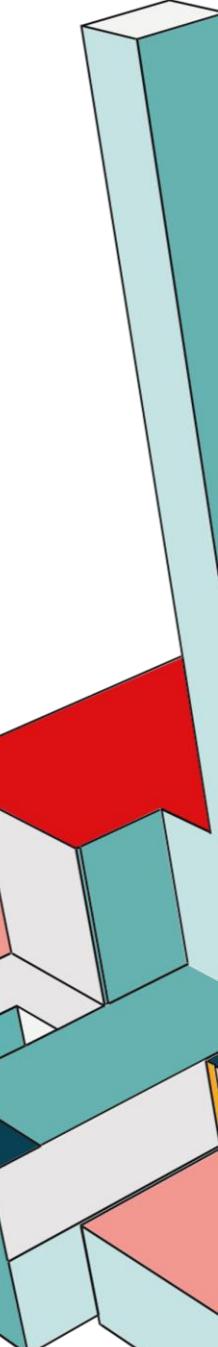
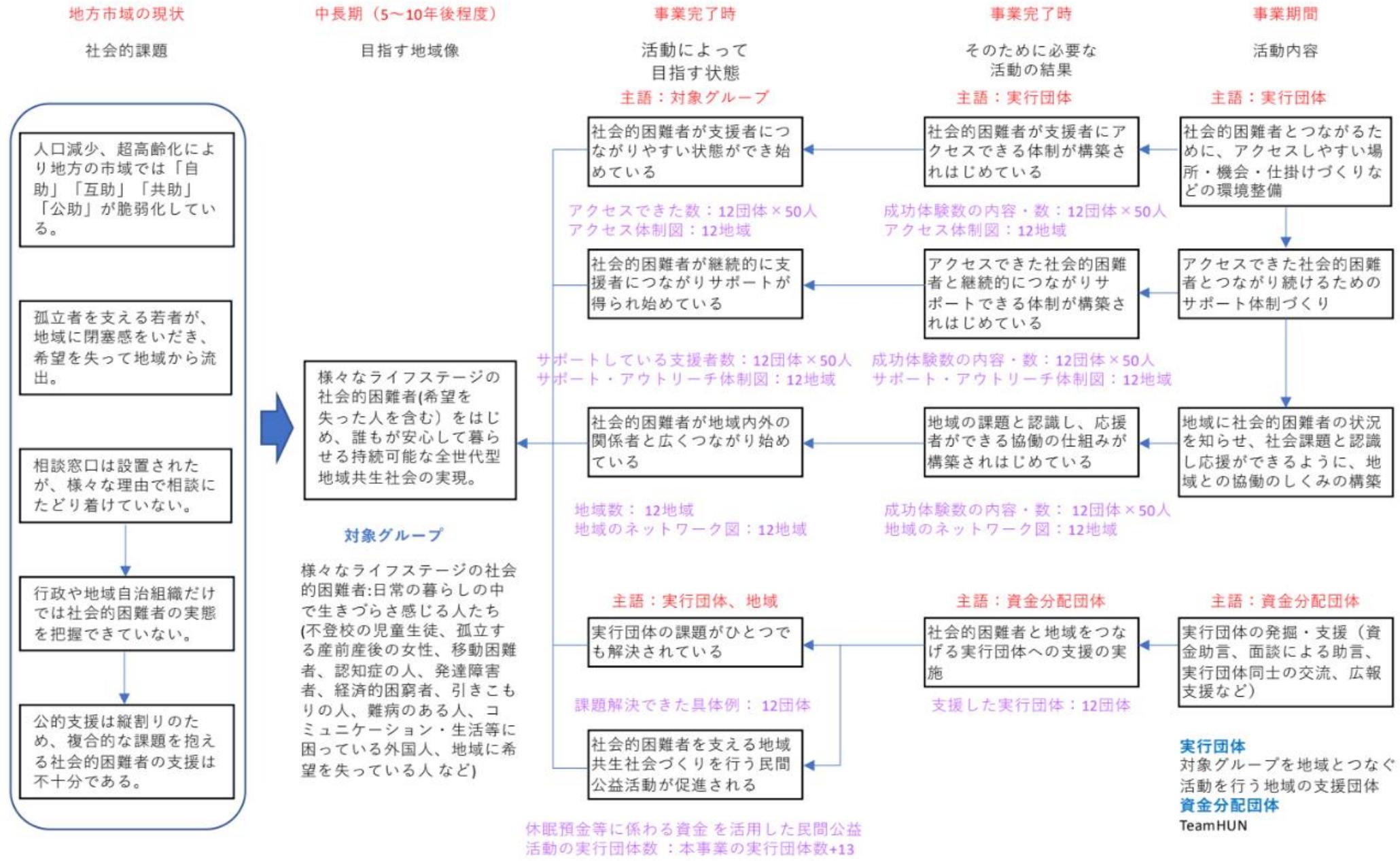
【今回取り上げる事業の概要】

地区内での65歳以上の主に免許のない方への移動支援
※地区外の移動は運輸局から許可が下りない
※地区内に病院やスーパーがないため、地区外に行くためにはバス、タクシーを利用



「社会的困難者を支えるローカルアクション(TeamHUN)」事業計画概要図

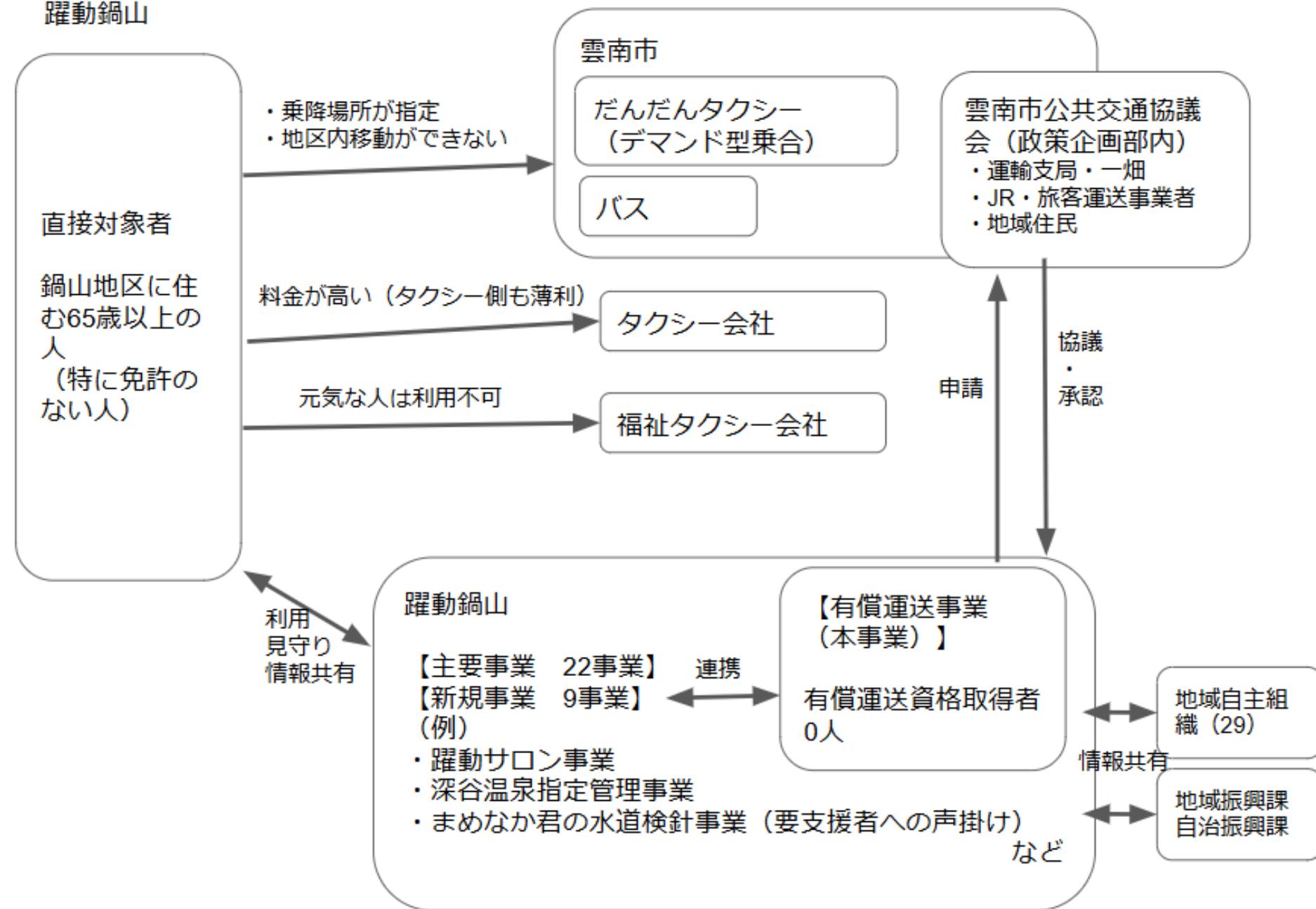
TeamHUN:東近江市、雲南市、南砺市の3市域のコミュニティ財団のコンソーシアム
H:東近江三方よし基金、U:うんなんコミュニティ財団、N:南砺幸せ未来基金



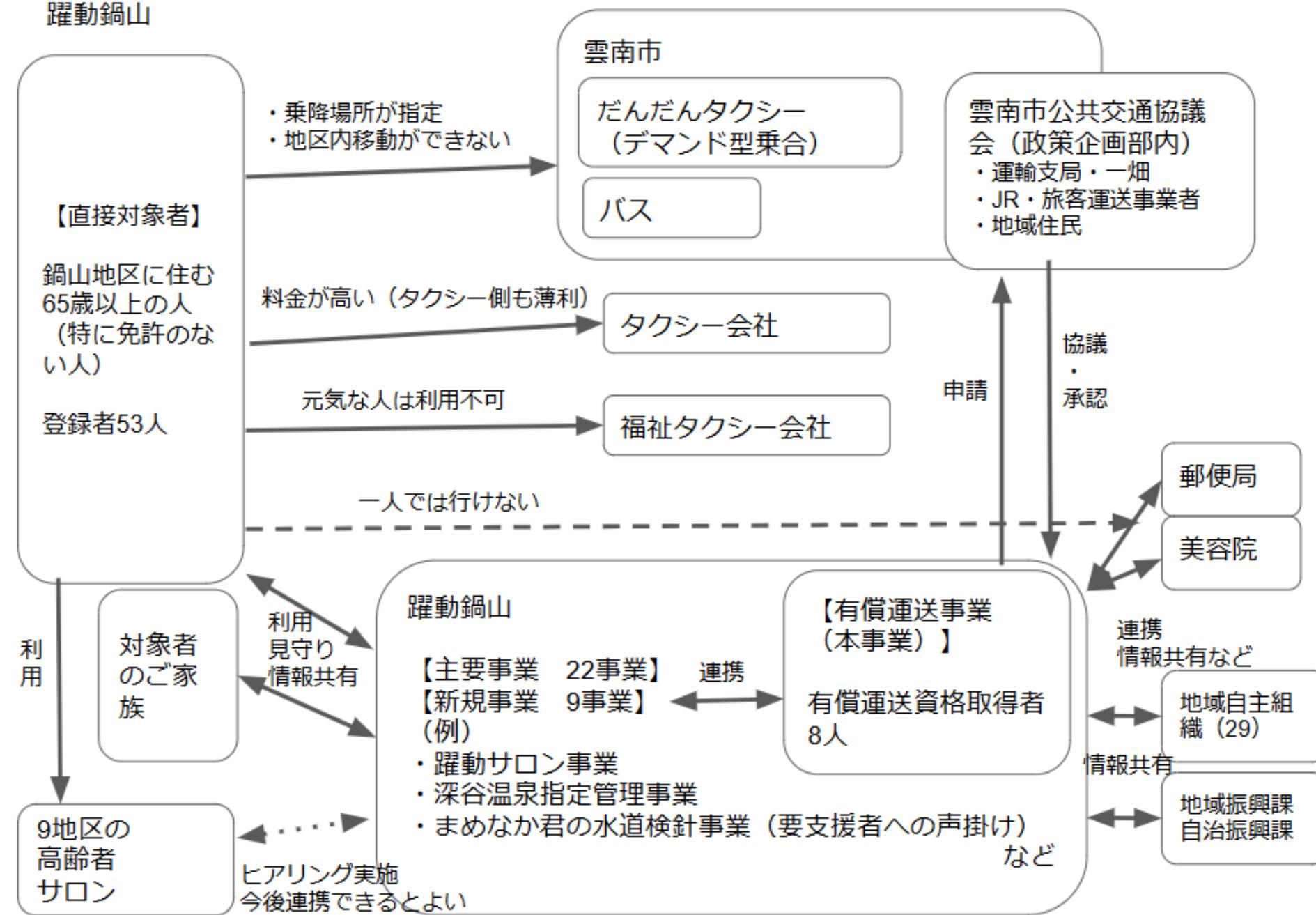
1. 高齢者の移動支援：走れ「よりそい号」（躍動と安らぎの里づくり鍋山）のロジックモデル



事業開始前（2022年3月31日）の相関図
躍動鍋山



事業中間評価時（2023年10月1日）の相関図
躍動鍋山



【利用者さま】

2023年度延べ利用497名（2022年度：288名）

1.ご利用の背景

- 行先：郵便局、美容院、
(バス停について)
 - 乗りたいバスが来る時間に合わせて、またはデマンドバス帰りにバス停～ご自宅間を送迎

2.直面している困りごと

- デマンドタクシーは時間が決まっている（通院時間に早すぎる・間に合わない）
- タクシー料金が高い（例えば、人によっては郵便局1200円、病院4000円など）
- 体調不良でも交通手段がバスしかない（バスの車内で大丈夫なのか、バス停についた後に病院まで歩いて行けるのかなど、心配）
- バス停から病院や眼科まで歩くことが大変
- デマンドタクシーで朝に歯科に行き、昼に帰る便が来るまで何時間も待っている

3.うれしい・助かったのお声

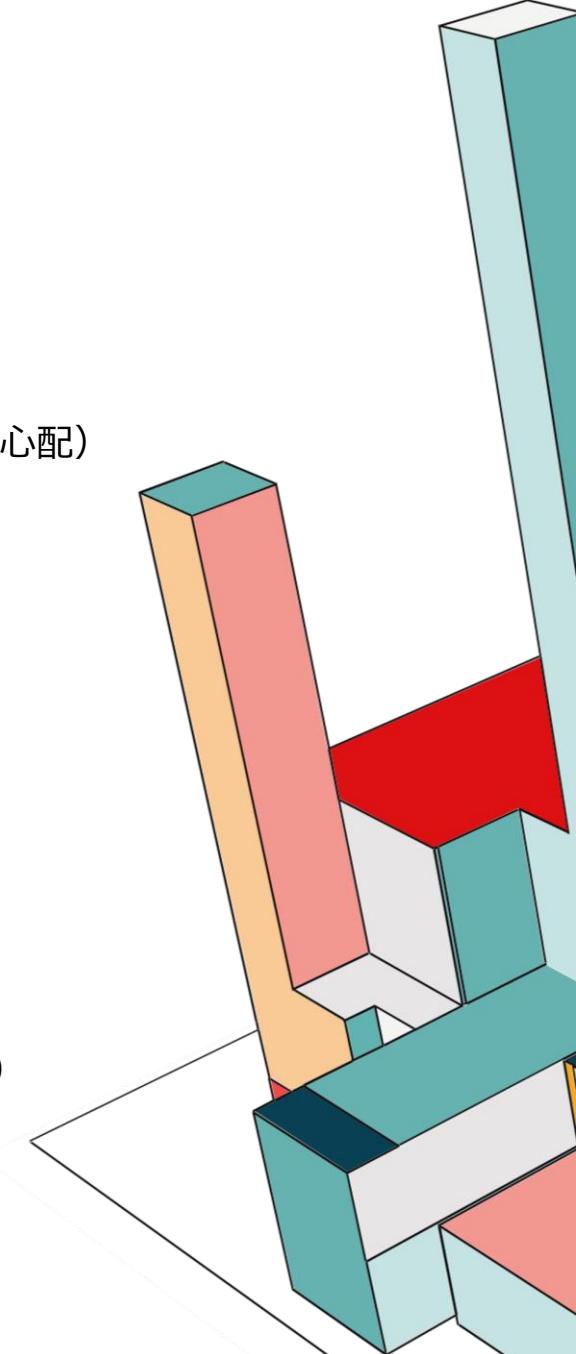
- 平日の日中は家族がいないので、頼んで友人宅に行けるのが嬉しい
- 家族に頼むより気が楽で良い・今まで頼っていた人に頼りづらくなったとき・家族にも頼りにくいときに利用できて助かっている
- よりそい号があるからこそ、サロンでおしゃべりできたり、郵便局で荷物を出せたりできる

4.ご要望

- 三刀屋の街まで行けると良い
- デマンドタクシーの便が増えるとよい

5.その他

- (移動)
- 「目的地まで1kmもない距離で、ごめんね」と言いながらご利用
 - 土日の利用が申し訳ないという気持ちから、鍋山地区内移動をタクシー利用（2023年度4月当時）
 - 現役で運転される方は登録のみで利用されることはあまり無い（調子が悪くなられたときなど／普段運転している90歳の方）
- (買い物)
- 普段、買い物は家族、友だちなどに頼む
 - （コミュニケーション）
 - ご自宅お送り後に「お茶でも飲んで帰って」とおしゃべりなど
 - ご利用者さんの息子さん・娘さんとコミュニケーションをとるきっかけにもなっている（母がお世話になっています…など）



【利用者さま・周囲の方々の変化のエピソード】

この事業があつたから起つたこと

○利用者さま（直接対象者）

- ・タクシーは高く、また急かされたりするので利用しない。知っている人が迎えに来てくれて安心して利用できる。
- ・お一人暮らしになり引きこもりがちだったが、よりそい号を利用しサロンに参加。サロンで久々に再開した友人のお宅によりそい号を利用し遊びに行くようになった。
- ・免許のあるなしに関わらず利用できるので、友人・グループで外出するときに利用でき楽しみに繋がっている。

○送迎先の店舗さま

- ・美容室店主が、お客様に「鍋山さんに連絡されたら？」と言ってくださって、利用連絡があった
- ・美容院2か所はカットやパーマなどが終わると迎え依頼の電話をしてくださる

○地域自主組織

- ・2地区が移動支援を検討

【その他】

- ・雲南省の優待乗車券について：枚数に上限がある、鍋山からだと三刀屋に行くとすぐに券が無くなるのでタクシーを使うのを控えられる方も多い

【団体さんのことがすごい】

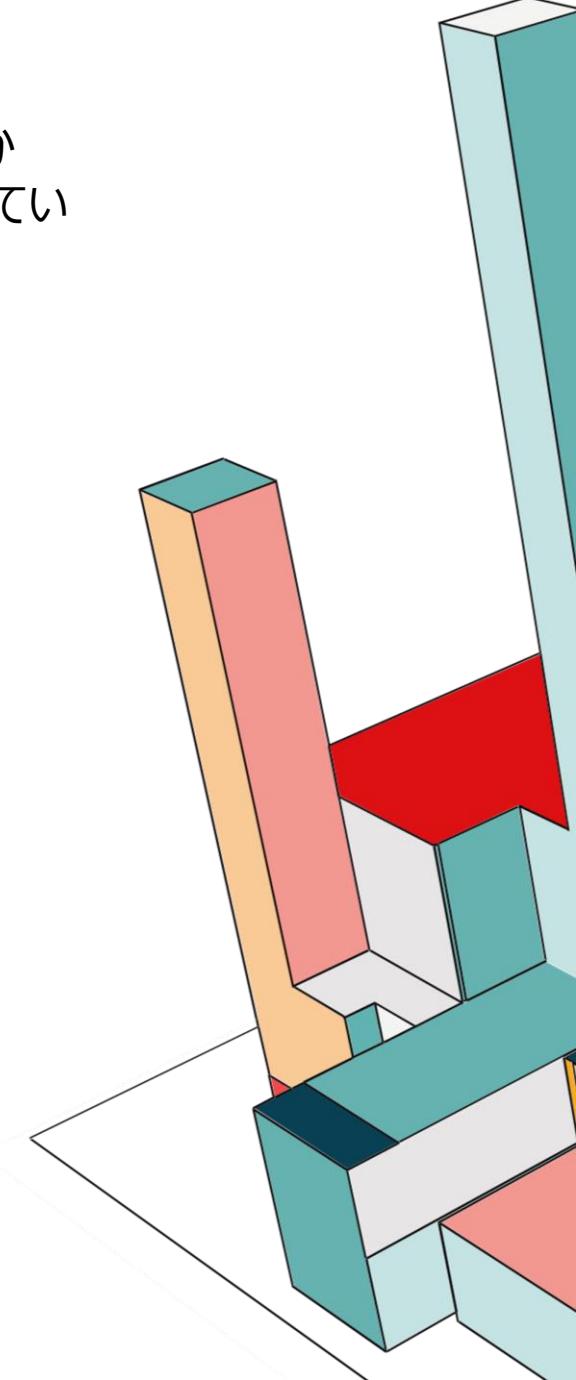
- ・10年以上見守り活動や訪問事業を実施されており、一人暮らしの方（その方がどのような方なのかも）、災害時などでおひとりで避難が難しい方の情報を自治会を通して地区内全ての情報を把握している
- ・家族構成や子どもの居住地まで把握（日頃のコミュニケーションの中で）
- ・地域継続のためにできることを本当にたくさん実施されている（約30事業）

【ご相談したいこと】

- ・高齢者移動支援の出口

現在、雲南市の交通課や三刀屋町総合センターの自治振興課の方とも情報共有
→成果についても良くご存知。しかし予算確保をどのようにしていけばよいか（300万円程度）
今後福祉課も交えて意見交換を予定

- (案) 社協さんに車を保有していただき、借りる
→かつてはそのようにしており、中止になったため見込めない
- (案) 利用者様に実費を負担いただく（300円以上）
- (案) 現在タクシー会社に委託で出している部分で実施する
- (案) 介護予防事業として実施する（通院の付き添い等と併せて実施）
- (案) 弊財団内に基金の設置
- (案) ふるさと納税の活用



活動写真



発表者・団体の連絡先

うなんんコミュニティ財団

0854-47-7787

info@unnan-cf.org